

ARIAARI

アリアリ
階段アプリ



作 マキセヒロシ





アンナちゃんは、
タブレットのゲームに夢中。
二本の指を使って
一段ずつ階段をかけあがるゲーム。





ゴールは、遠くに見えるお城。
競争相手は、ヌーピー。変なウサギ。

「早くしないと
おいてくよ」
ヌーピーは
言いました。



アンナちゃんは
ちょっぴりムキになりました。







ゴール近くで
ヌーピーが
転んだひょうしに
アンナちゃんが
追い抜きました。

「やったー」
アンナちゃんは
ヌーピーに
勝ちました。

ヌーピーは
とても
悔しそう。

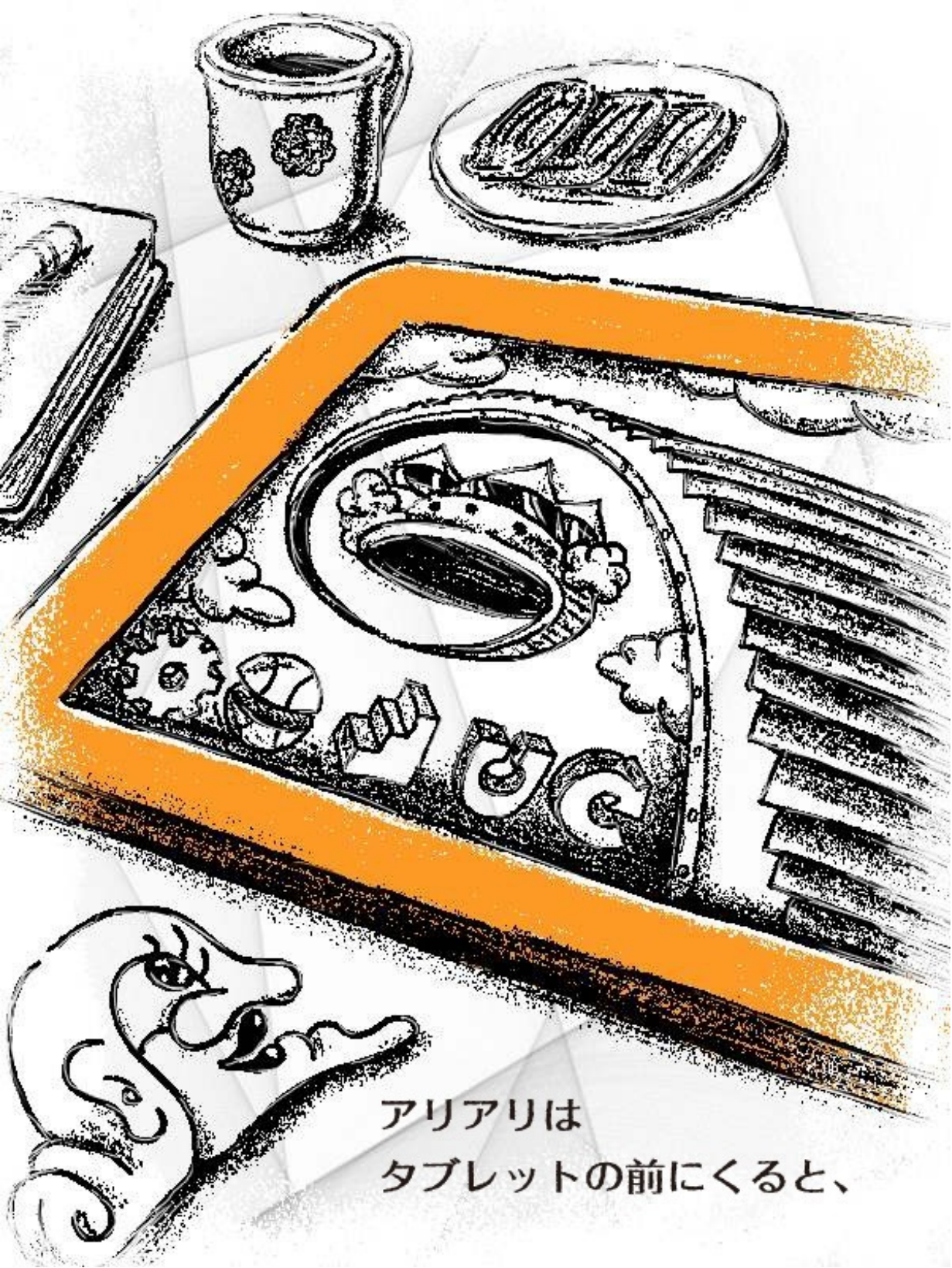


そこへお母さんが
「ごはんだよ」と
呼びにきたので、
アンナちゃんは
部屋から出ていきました。



アンナちゃんが部屋から出ていくと、
ティーカップのうしろにかくれていた
アリアリが姿を現しました。





アリアリは
タブレットの前になると、

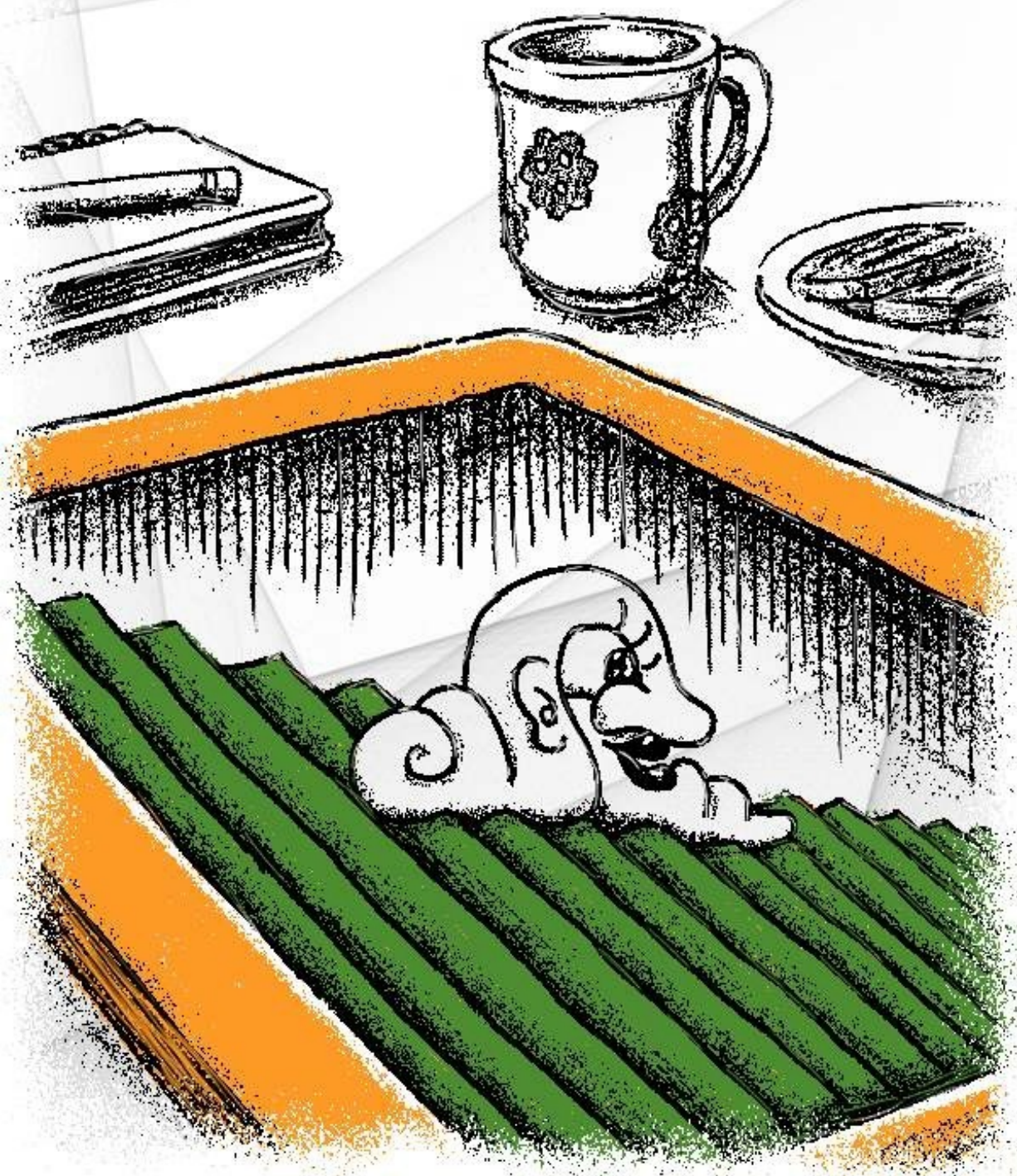


「階段」の
アイコンに
タッチ
しました。

すると、
ゲームの画面が
きりかわりました。

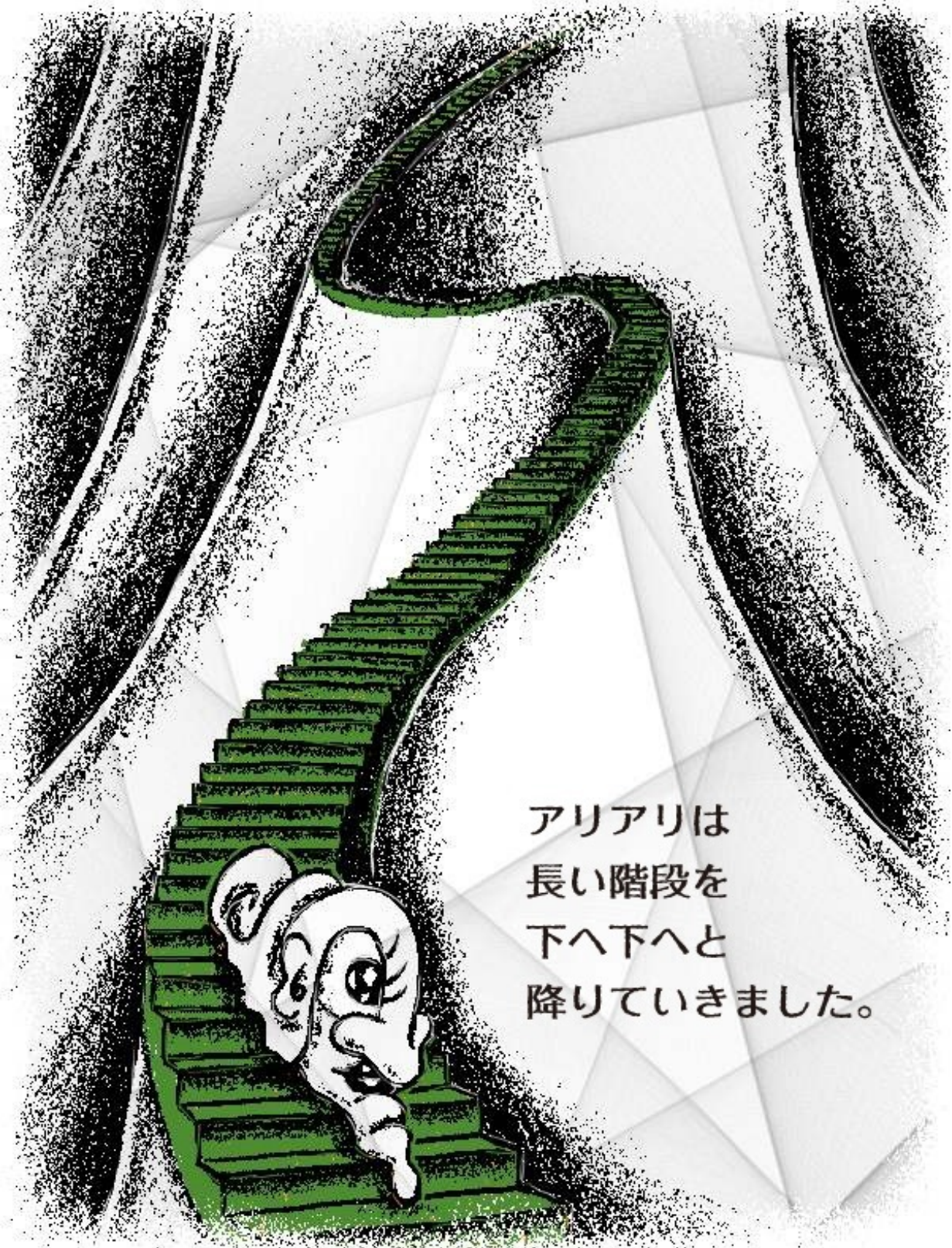


そこに現れた緑色の階段を
アリアリは降りていきました。




アリアリの背後で
階段の扉が
しまりました。





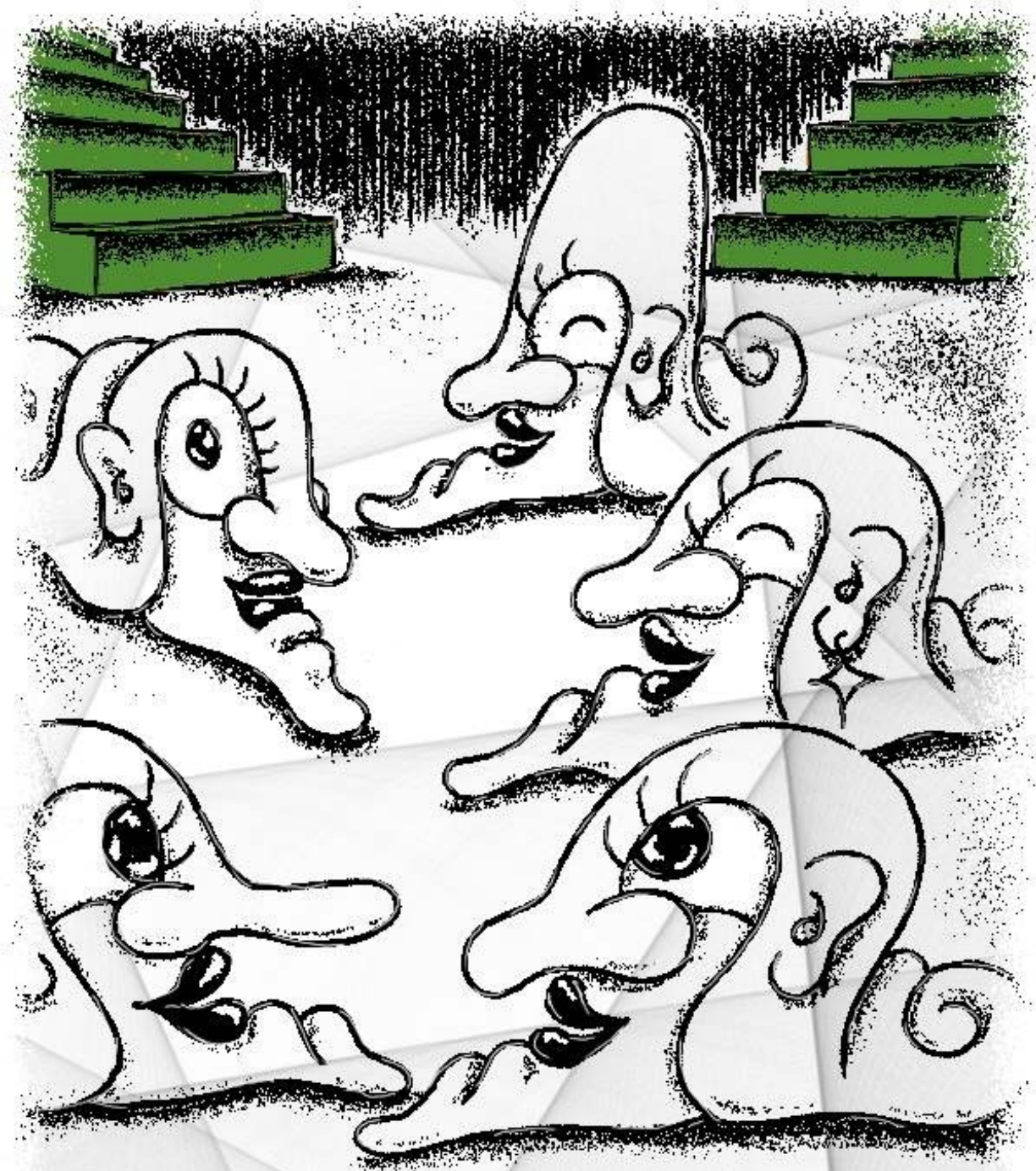
アリアリは
長い階段を
下へ下へと
降りていきました。



しばらくすると
違う階段を降りる
仲間と出会いました。
二匹はニッコリと
あいさつしました。

さらに
ほかの階段からも
アリアリの
仲間たちが
降りてきました。

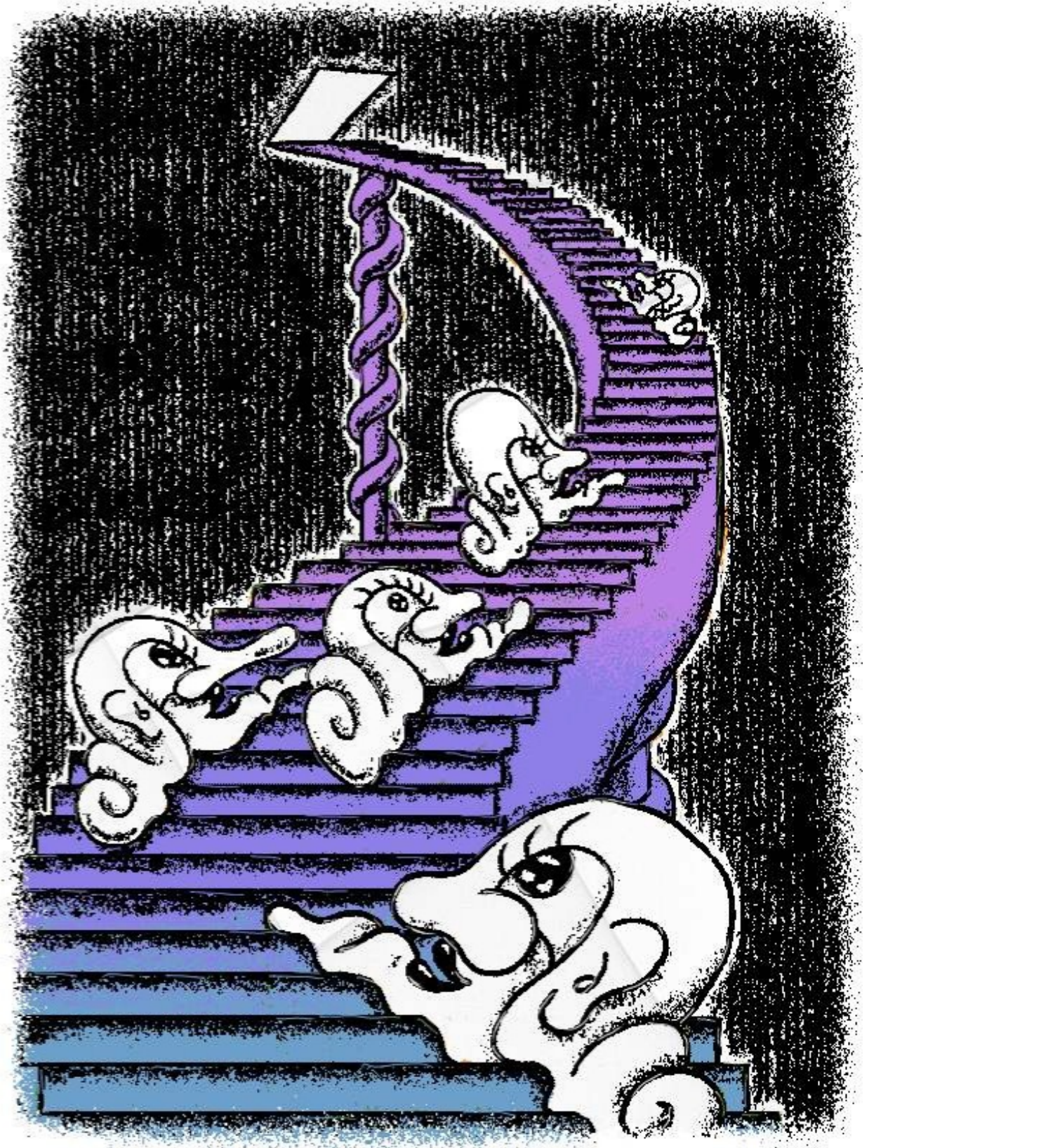


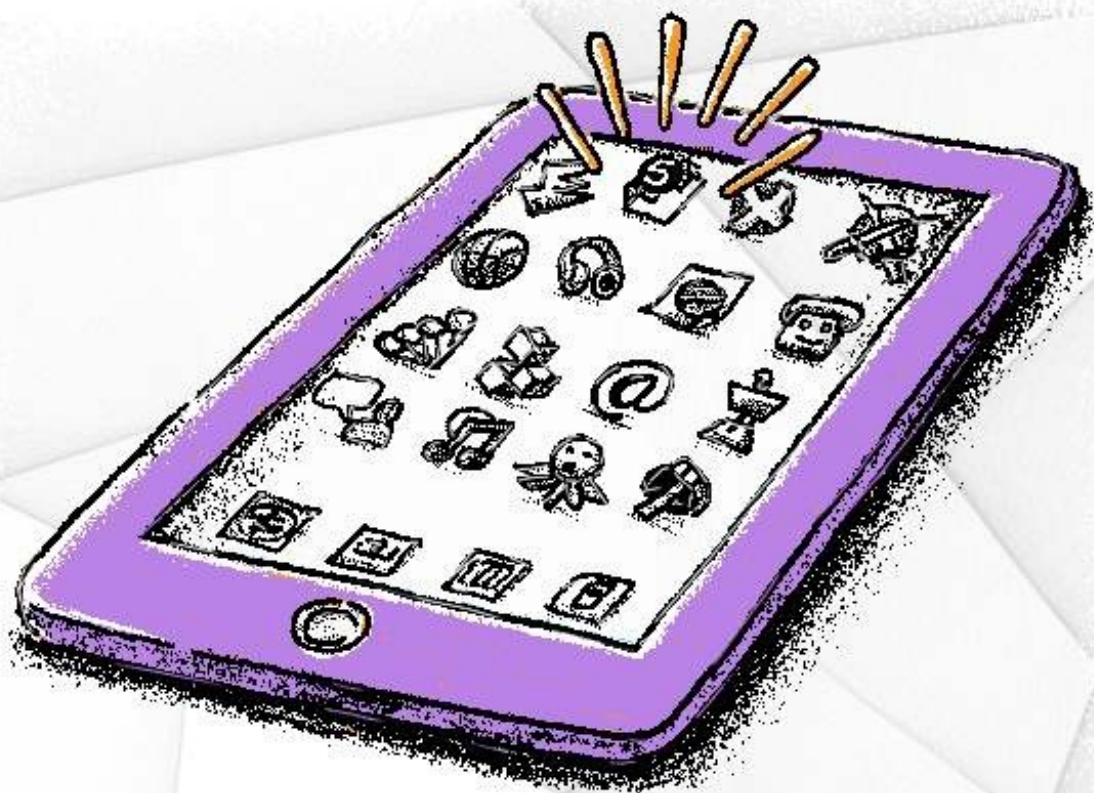


アリアリと仲間たちは
うれしそうに笑いあいました。

そして、仲間の「さあ、行こう！」
とのかけ声でアリアリたちは階段を
上がり始めました。







タブレットの
アイコンが光ったので
ジンジャーは
アイコンを
タップしました。



すると、
アンナちゃんの
タブレットと同じように
階段が現れ
そこからアリアリたちが
飛び出してきました。



「みんな
ご苦労さま!
じゃ、順番に
教えてくれるかな?」



アリアリたちが
仕入れた情報を
ジンジャーは
すぐにパソコンに
入力しました。

アンナ
5才
日本

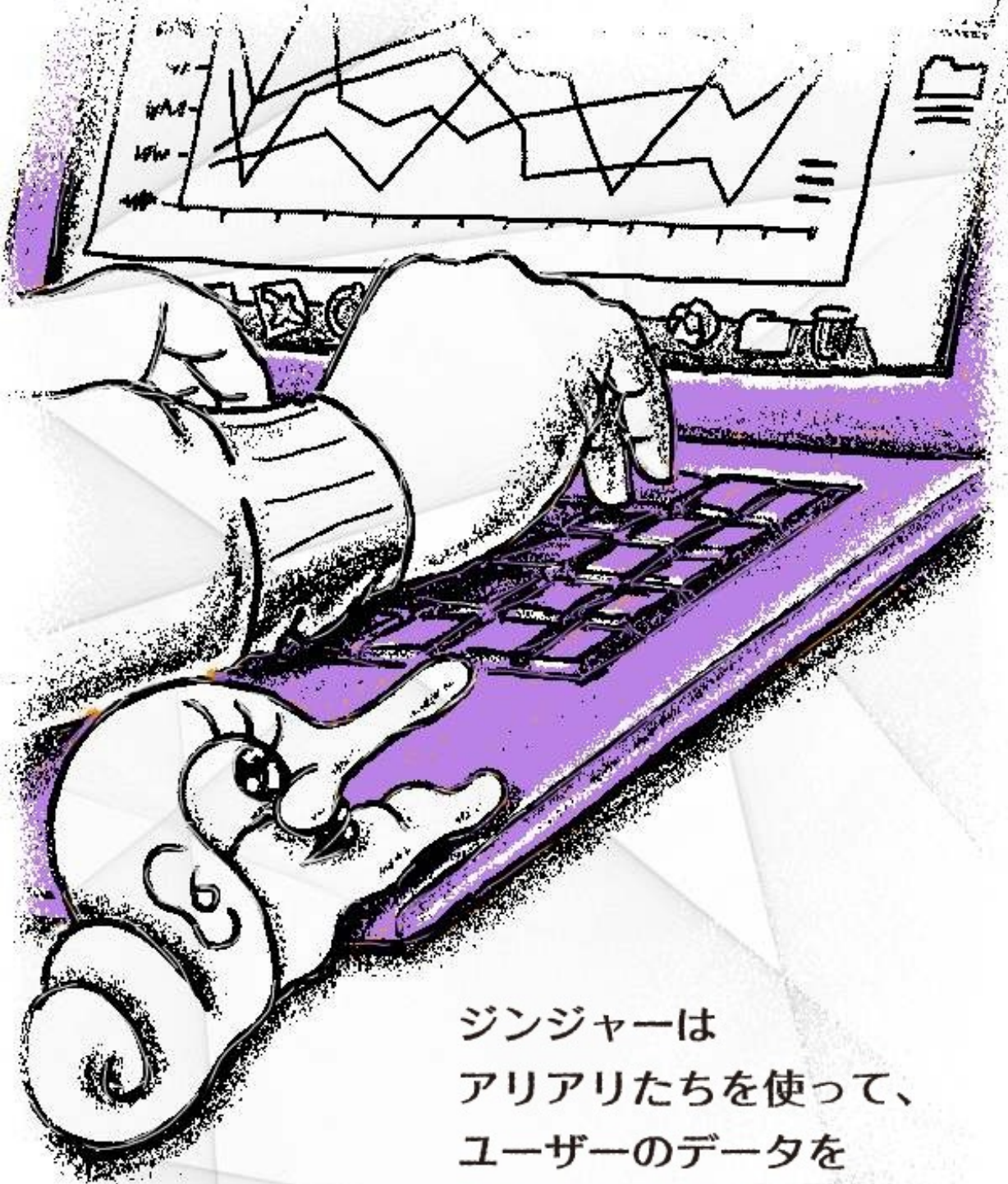
ハゾム
10才
日本

チェン
7才
中国

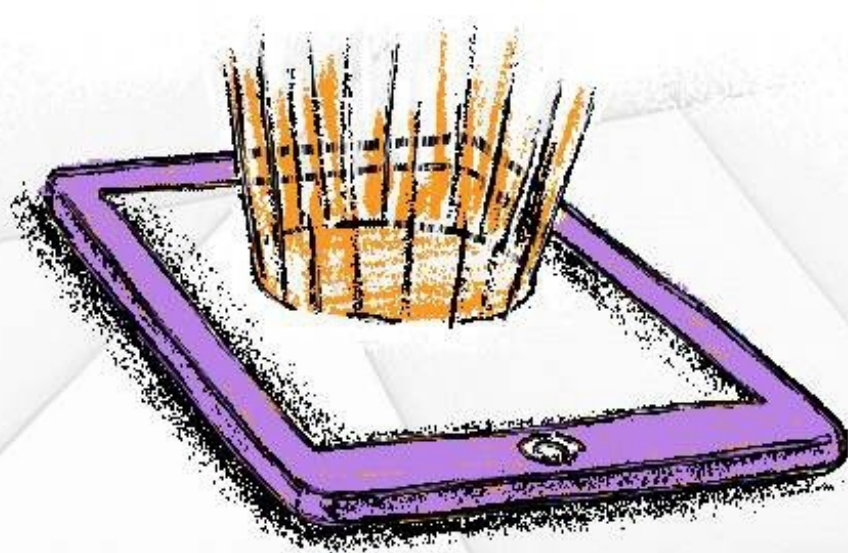
アサド
12才
エジプト

シェリー
8才
イギリス





ジンジャーは
アリアリたちを使って、
ユーザーのデータを
集めていました。



タブレットが光ったので
ジンジャーが
振り向きました。

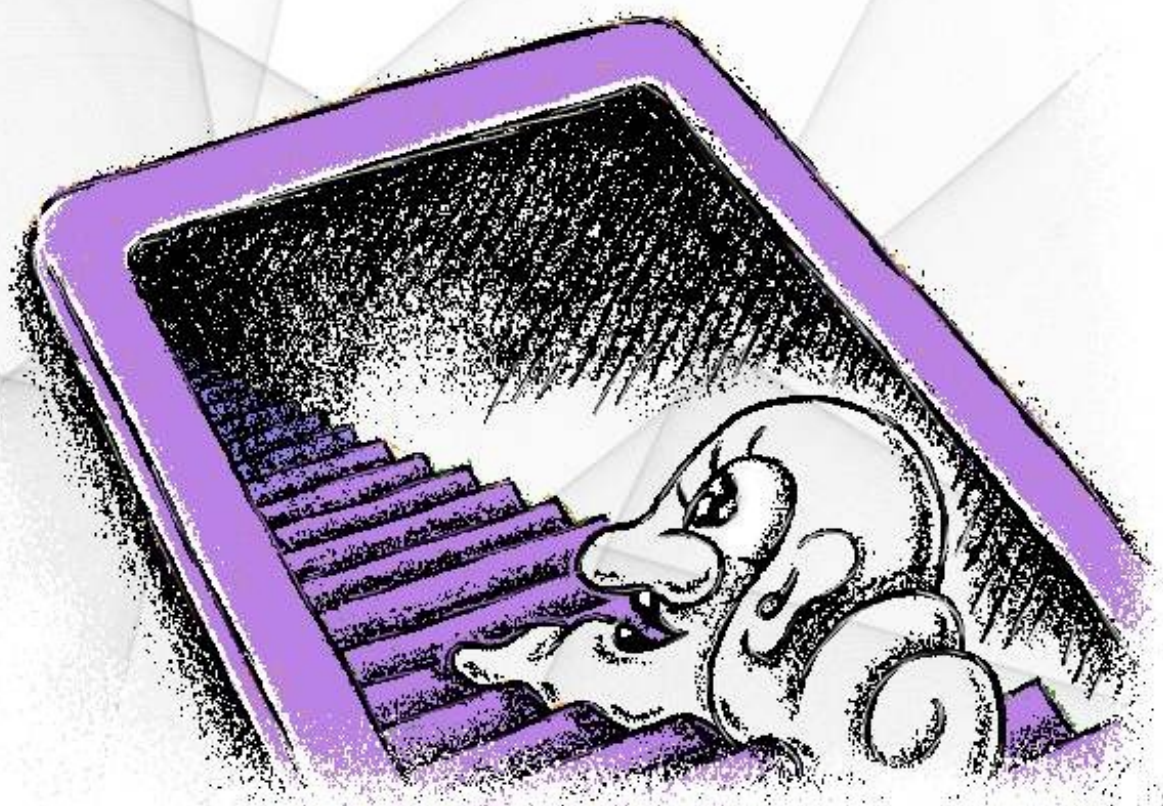
「新しいユーザーだ！
階段アプリの
ダウンロード
しているぞ」





すぐにジンジャーは
アプリのアイコンを
タップしました。

現れた下り階段を
アリアリが
降りていきました。
「よろしく!」と、
ジンジャーは
声をかけました。





インストール中...





終

作 マキセヒロシ

校正 タンタン

アリアリのホームページ

<http://www.facebook.com/ariari.ebook>

Copyright © 2011 Hiroshi Makise All Rights Reserved.